

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 引野 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）	
①	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査	
○	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

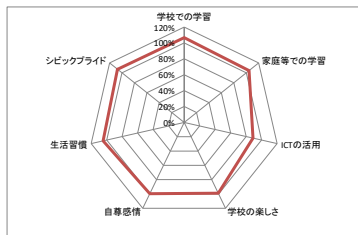
- (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

- (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「読む」「書く」に関する問題の正答率はすべて全国平均を上回っていた。「言葉の特徴や使い方」に関する問題の正答率がほぼ全国平均を下回っており、上回っている	全国平均正答率との比較
	よくなった問題	・目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題 ・文章を読んで理解したことに基いて自分の考えをまとめる問題	
	努力が必要な問題	・漢字の使い方や、主語と述語の関係を問う問題	
算数	全体的な傾向や特徴など	ほとんどの項目で正答率が全国平均を下回っていた。特に「図形」領域は全国平均を大きく下回っており、円や多角形の問題を苦手とする児童が多くなることがわかる。	全国平均正答率との比較
	よくなった問題	・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題	下回っている
	努力が必要な問題	・球や立方体の直径や一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積を求める問題 ・数量の関係を、口を用いた式に表す問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析	
「学校での学習」「家庭等での学習」「シビックプライド」の調査項目では、全ての項目で全国平均を上回っており、「生活習慣」の調査項目も「朝食を毎日食べていますか」の質問が若干全国平均を下回ったものの、全体的には全国平均を上回っていた。	
「学校の楽しさ」「自尊感情」の調査項目については、全国平均を若干下回ったものの、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」98.7%と高い結果となっている。「ICTの活用」に関しては、前年度同様全国平均を大きく下回る結果となっている。この結果を踏まえ、ICT機器の活用をより充実させていく必要があると考える。	

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

国語科では、言葉の特徴や使い方に関する問題が苦手な児童が多いので、言葉や漢字の使い方、主語と述語の関係など基礎的な学習を繰り返し行い定着させていく。算数科では、「図形」領域が苦手な児童が多いので、1年生から系統性を意識した授業を行い、図形の基本基本からしっかりと定着させていく。

- ② 家庭生活習慣等に関する取組

昨年と比べると家庭学習の定着は高まってきているため、さらに自主的な家庭学習を進めていくため「自主学習ノート」の活用を推進していく。また、生活習慣改善のため栄養バランスや朝食の大切さなどの学習を続けていくとともに、保護者への啓発も行っていく。